

事業所名

アクティブスペースみらい辰巳店

## 支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

R6 年

7 月

10 日

法人（事業所）理念	人が「すき」「すき」を伸ばす 苦手を「すき」に変える。子どもたちの「すき」には無限大の可能性があります。みらいはその「すきの先へ」につなぐ場所をめざしています。		
支援方針	お子さまの個性を伸ばし、日々の生活をより豊かにできるように一人ひとりに合わせた療育を心がけています。成長・個性に合わせた様々なトレーニングを行うことでひとつひとつの「できた!」を積み重ね「自信」と「やる気」を育み、お子さまもご家族の方も「また行きたい」「通ってよかった」と思えるような「場所」でありたいと考えています。		
営業時間	9 時	30 分から	17 時
			30 分まで
			送迎実施の有無
			あり
			なし
	支 援 内 容		
本人支援	健康・生活	健康状態の維持と把握をする。週の予定にみらいの活動を組み込み、活き活きた日常生活を過ごせるように支援する。基本的な生活スキルが身につくように支援する。（宿題を準備する・物の管理をする・服を着替える等）みらいでの運動療育に参加し、心地よい疲れを感じる。そこから、空腹を感じたり、質のいい睡眠につながるようにする。ワーキングメモリを高めることで生活習慣や自立につながられるようにする。	
	運動・感覚	運動療育（個々のいいところや、伸ばしたい能力に着目し体の使い方を習得させる支援をする。（走る・歩く・跳ぶ・投げる・蹴る・捕る・体幹等））また、運動療育に参加することで日常的な姿勢の保持や指先の感覚等につなげる支援をする。（学習する姿勢をよくする・字が枠からはみ出ない・机上から物を落さない等）ストレッチ・体操・バランストレーニング等、戸外活動へ積極的に参加する。	
	認知・行動	時間割を活用し活動できるようにする。時計や時間を意識して生活力を身につけられるようにする。小集団での協調的な関りができる活動（運動あそび・集団レクリエーション等）をする。また、その中で個別課題を見つけ出し、サポートできるようにする。季節の変化や自然物への適応など感性形成のための外出をする。	
	言語 コミュニケーション	個々に合わせて言語や言語以外のコミュニケーションができるようにする。運動療育は、指示書を見て体を動かすワーキングメモリをトレーニングする。指示書（視覚的支援）を取り入れ行動につなげるようにする。振り返りノートの活用。取り組んだ活動内容をノートに記入できるようにする。（振り返りの時間をつくり個々に考えをまとめる）終わりの会での言語表出トレーニングをする。（なぞなぞ等）	
	人間関係 社会性	運動や遊びを通して、社会的関りができるようにする。気持ちの共感や共有をして他者の存在を意識できるようにする。ルールのある活動から社会性の経験を増やせるようにする。居心地のいい場所になることで、学校・家庭以外での居場所としての役割になるようにする。できることや伸びているところを言葉で伝えて自尊心を高める。	
家族支援	健康的な活動をすることで家庭でのいい生活習慣につながられるようにする。子どもたちの頑張る姿から家族が温かいまなざしで子育てができるように支援する。	移行支援	移行支援事業所とのつながりを持ち、研修等に参加する。具体的な移行先への調整ができるように支援する。
地域支援・地域連携	支援機関や専門機関との連携を図る。個別ケース検討のための会議へ参加する。	職員の質の向上	社内研修、事業所内研修、外部研修への参加。またスタッフ間の連携や保護者との意見交換等を行い、学んだことを現場で発揮できるようにする。
主な行事等	季節のイベント（ハロウィン・クリスマス会等）、社会見学、避難訓練等		